

えがお大東っ子 第49号

大東市のホームページでも「えがお大東っ子」をご覧くださいませ。

<http://www.city.daito.lg.jp/kakukakaranoosirase/gakoukyoiku/kyouikukenkyu/egaodaitoukko/>

小中連携教育の推進 一 小・中の円滑な接続をめざす取り組み

大東市では、「だいとう教育ビジョン 2019」のもと、確かな学力の育成をめざすため、全中学校区が研究テーマを決めて取り組んでいます。次年度より、本事業を土台とした小中一貫教育を計画的に実施するため、その準備を進めてまいります。

道徳教育の充実に向けた授業改善及び子どもの自己肯定感・意欲を高める取り組み ～谷川中学校区～

小・中の教員が道徳の指導等について、小中合同研修会を行い、質の高い多様な指導方法について、研究を推進しています。小・中で道徳の進め方や方向性について共有し、小・中一貫した「道徳性の育成」をめざしています。

特別支援教育の視点を取り入れた授業方法改善の取り組み ～住道・深野中学校区～

学習環境や指導方法について、特別支援教育の視点を取り入れた授業改善の研究を推進しています。すべての子どもたちにとって分かりやすい授業をめざし、小・中の教員が合同研修等を行い、共通の視点で話し合っています。

アクセスプラン：6年生の中学校登校の取り組み ～四条・北条中学校区～

中学校へのスムーズな移行をめざし、6年生が中学校に登校し、授業や給食、クラブ活動などを体験しました。小学校6年生の感想からも中学校入学への不安解消や意欲の向上等、多くの成果が見られています。

班活動等を活用した『集団づくり』の取り組み ～大東中学校区～

小・中の学級経営における段差解消をめざし、小・中一貫した『集団づくり』の研究を推進しています。仲間づくりを大切にする子どもの育成をめざし、小・中の教員が合同研修等を行い、共通の視点で話し合っています。

生活規律・学習規律の確立をめざした生徒指導の充実及び学習環境整備の取り組み ～南郷・諸福中学校区～

小・中が共通した視点で生徒指導の充実や学習環境の整備に取り組めるような指導方法の研究を推進しています。落ち着いた生活環境と学習環境を築くため、小・中学校の教員が互いに訪問・参観し、学習や集団の活動等の様子を確認したり、交流したりしています。



合同研修会後の授業の様子



小中合同研修会の様子



中学校給食の体験



小中合同研修会の様子



小中合同研修会の様子

多文化共生 をテーマに人権学習の授業づくりに取り組んでいます

大東市では、「人権教育カリキュラムづくりワーキンググループ」を通して、人権課題の解決に向けた授業づくりを教職員の協働により進めており、毎年、さまざまなテーマで取り組んでいます。

令和元年度のテーマは、多文化共生です。外国にルーツのある子どもたちは、全国的に増加傾向にあります。インターネットから情報を得ることも多くなっている中で、歴史的背景や文化のちがいなどについて正しく理解することを通じて、差別や偏見をなくすことにつなげることが必要です。

各校で授業実践を行い、子どもたちは外国のさまざまな文化や習慣を知ることを出発点として、ともに生きていくために自分たちができることを意見交換しながら考えることができました。

外国にルーツのある子どもたちのみならず、すべての子どもたちが互いのちがいを認め合い、豊かな関係を築きながら社会に展望をもって生きていくために、これからも取組みを進めていきます。



情報モラル教育 について

携帯電話やスマートフォン等を所持している子どもの割合は年々増えていますが、使い方を間違えると重大なトラブルにもつながります。大東市の小・中学校では、子どもたちと比較的年齢が近い大学生を講師として迎え、携帯電話やスマートフォンの安全な使い方を考える「情報モラル学習教室」の実施や、学校独自の取組みを通じて、その危険性について学んでいます。

子どもたちがトラブルの被害者にも加害者にもならないようにするために、次のようなことが大切です。

- 親子でルールを決めてから子どもに持たせる。
- メッセージを送るときには相手の立場に立って、送られた相手はどう感じるか考える。
- 写真や動画を投稿する前に、本当に投稿して問題がない内容かを冷静に考える。
- インターネット上で誰かと仲良くなることがあっても、絶対に会わない。



この機会に、お子様と携帯電話やスマートフォンの扱い方について、一度話し合ってみてはいかがでしょうか。

「子ども安全見守り隊」活動について

現在、12小学校区内、240箇所で、自治会、PTA、青少年指導員、防犯委員、老人会、こども会等地域の方々が、児童の登下校の安全見守り活動に参加されています。皆さん、ボランティアで、雨の日も暑い日も寒い日も毎日、通学路や交差点などに立って、子どもたちへ笑顔で「おはよう」「お帰り」等声かけをして、見守ってられます。

朝は、最後の子どもが登校するまで、待っていたり、一緒に横断歩道を渡ったりして児童の安全に気を配ってくださっています。

見守り隊の活動は、子どもたちに安心感を与えるだけでなく地域の犯罪抑止にもつながっています。



北条小学校



灰塚小学校



深野小学校

地域ファミリースポーツ中央大会

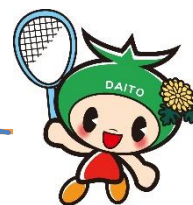
この大会は、大東市スポーツ推進委員が主催となり、運動の得意不得意に関わらず、誰もが簡単に取り組めるニュースポーツを楽しんでいただくものです。

大会では、カーリングの床上版であるカローリング、巨大なボールで点数を競うキンボール、本市スポーツ推進委員が生み出したボール de ビンゴが楽しめます。

全て1チーム4人で行いますが、お一人からでもご参加いただけます。この機会にぜひ、ご近所、ご家族お誘い合わせの上、簡単なニュースポーツで心地の良い汗を流してみませんか？



皆様のご参加をお待ちしております。



- ・日時：令和2年3月1日（日）
午前9時30分から開始
- ・場所：大東市立市民体育館
- ・種目：カローリング、キンボール、ボール de ビンゴ
- ・持ち物：体育館シューズ
※水分補給は各自でお願いします。
- ・参加費：無料

スポーツ振興課

第39回大東市立小学校連合音楽会 ー大東市小学校教育研究会主催ー

令和元年11月29日（金）、サーティホールで市内12小学校による、第39回大東市立小学校連合音楽会が行われました。各校の代表として出場した児童は、大きなホールと舞台に緊張もありましたが、立派に合唱・合奏をやり遂げました。合唱では、練習を重ねてきた美しいハーモニーを会場に響き渡らせ、合奏では、仲間と心を合わせ、強弱をつけてメリハリのあるメロディー、躍動感あふれるリズムで演奏していました。鑑賞者に感動を与える素晴らしい音楽会となりました。



小学校
3年生



社会科副読本『わたしたちの大東市』に学び、
ふるさとジュニア検定～めざせ！大東ものしり博士～に挑む！



12月中旬～1月中旬の間で、大東市立小学校の3年生の子どもたちが、「ふるさとジュニア検定～めざせ！大東ものしり博士～」に挑戦しました。ふるさとジュニア検定は、社会科副読本「わたしたちの大東市」に基づく「ふるさとジュニア検定 例題100問」の冊子から40問が出題されます。受検した全員に、大東市教育委員会から記念の缶バッジが、また、9割（36問）以上正解すると、「大東ものしり博士認定証」が授与されます。検定の結果は、3月に学校を通じてお知らせする予定です。

